ESA に関する FAQ：ESA で添付ファイルが破棄される場合でも、ウイルス対策スキャンを実行する必要がありますか。

内容

[概要](#)
[ESA で添付ファイルが破棄される場合でも、ウイルス対策スキャンを実行する必要がありますか。](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Eメールセキュリティアプライアンス(ESA)で添付ファイルがドロップされた後に、アンチウイルススキャンメッセージが必要かどうかを説明します。

ESA で添付ファイルが破棄される場合でも、ウイルス対策スキャンを実行する必要がありますか。

一般的に、ウイルスをスキャンするのはいいことです。添付という用語の厳密な定義は*ありません*。MIME部分だけです。ただし、コンピュータが用語の意味を理解できないという期待から、添付という用語を使用するのが一般的です。 実際のところ、プログラマは、ユーザが添付ファイルと見なす内容と、メッセージ内で何が利用可能であるかをマッピングする必要があります。これは、インターネットRFCの定義によって制御されます。

詳細については、『ESA FAQ:Eメールメッセージのどの部分にフィルタの添付ルールが適用されますか。この定義については、シスコのドキュメントを参照してください。

このため、添付ファイルの削除を厳密に実施することは困難です。*これは、エンジニアの最善の努力を無視して不正確な添付ファイルを実装するメッセージを作成する代替方法が常に存在するからです。*また、受信メールに添付ファイルをドロップしても、送信メールに添付ファイルをドロップしない場合があります。 **したがって、送信メールをスキャンしてウイルスや受信メールを検出することをお勧めします。**